

海外留学連携協力協定調印式

平成28)年4月28日



協定書を掲げる中村淳之介社長(左)と4教育機関の代表者
—28日、八戸学院光星高

八学大などとイー・エフ社(東京) 留学支援で連携協定

東北初

八戸学院大、八戸学院短大、八戸学院光星高、八戸学院野辺地西高の4教育機関は28日、語学学校の運営や海外留学の支援などを手掛けるイー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン(東京、中村淳之介社長)と海外留学連携協力協定を締結した。4校の学生、生徒が海外へ留学しやすいようサポートするのが目的で、国際的な教育力の向上につなげたい考え。(水野大輔)

企画、手配スムーズに

同社は、世界52カ国の計500カ所以上に拠点を展開し、50年以上の歴史がある世界最大級の語学教育機関の日本人で、札幌など国内7カ所に留学相談窓口を設置。これまでに大学15校、高校10校と同様の協定を締結しており、東北地方では今回が初めて。大学、高校一体の包括的な協定締結も初めてのケースという。4校と同社は協力し、海外留学の手配などがスムーズにできる窓口を設置するなど留学希望者の支援態勢を整えるほか、留学プログラムの企画・開発に取り組み。八学大などは資金面で後

押ししようと、留学資金の助成制度の新設など留学しやすい環境整備にも力を入れる方針。今夏は5人程度を選抜し、同社の語学学校のある北米などに留学させる予定だ。一般市民に門戸を広げることも検討中という。

八学光星高で同日開かれた調印式で、中村社長が「東北地方のグローバル化に貢献したい」と意気込んだ。

八学大の大谷真樹学長は「国際教養を高める実体験がしづらい地方大学が抱える問題を解決できる」と意義を強調。

八学光星高の橋場保人校長は「これを機に生徒の目を世界へ向けさせたい」とそれぞれ述べた。